

新年のご挨拶



南越前町長

増澤 善和

新年あけましておめでとうございませう。

町民の皆様方には、輝かしい新年をご家族お揃いで迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、平成の大合併により誕生いたしました南越前町も、はや四年目を迎えることとなりました。

その間わたくしは、融和・対話・調和をモットーに、新町建設計画に基づき、我が町全体の発展、均衡ある住民福祉の向上などに、微力ながら全力をあげ

て取り組んでまいりました。

中山間地域総合整備事業の推進や漁港の施設整備の促進、国道305号を始めとする道路改良の推進や、南越前ダイビングパークなど海岸線の各種施設の整備、町内三小学校の新築・改築による教育施設の充実、住民の皆様方の生活に直結した事業といたしましては、地域医療の拠点となる河野診療所の整備、ライフラインである簡易水道の南条地区統合事業、日常生活に欠かせない携帯電話の不感地域の解消などに取り組んでまい

ました。

一方では、多すぎるのではないかと何かと指摘を受けております職員数の削減にも努め、人件費の大幅な抑制を図ってきたく所存であります。

このように、合併の大きな目的の一つであります、財政基盤の強化を絶えず念頭に置きながら、歳出の見直しを中心に添えた財政改革の推進と、諸施策・各種事業の実施に、鋭意、努めてまいったところであります。

しかしながら、我が国の経済は、原油価格の高騰などが要因となり、極めて不安定な状況に置かれております。

国政につきましても、テロ特措法などの審議の行方によっては、大きな変動も予測されるような状況下にあります。

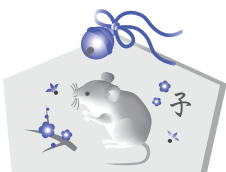
このような社会情勢下ではありますが、当町といたしましては、今後とも情報収集、情報分析に努めながら、今まで進めて

まいりました財政改革を引き続き断行していくとともに、組織の統廃合なども視野に入れた行政改革も新たに着手しなければならぬと、あらためて決意を新たにしているところであります。

昨今、中央、地方を問わず、地域格差の是正が活発に議論されておりますが、地方自治体、特に我が町のような小さな自治体にとりましては、現在の厳しい状況が今しばらく続くことは想像に難くないと思っておりますが、今後とも更なる英断をもって、当町の活性化に取り組んでまいる所存でありますので、町民の皆様方の更なるご理解、ご協力を賜りたいと存じます。

最後になりましたが、町民の皆様方の今年一年のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。新年のあいさついたします。

年頭にあたり



南越前町議会議員

西嶋 久夫

輝かしい平成二十年の新春を、皆様とともに迎えたいことを、心よりお喜び申し上げます。

日ごろより議会運営につきましては、格別のご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

中央勢は、福田内閣が誕生しましたが、重要な諸問題が山積する中、衆・参の与野党逆転によりねじれたままで国会は再々延長となり、進展は見えず、政局の早急な安定を願

地方の格差解消を望むものであります。

さて、本格的な地方分権時代の到来や、少子・高齢化、人口減少社会を迎えて、社会の仕組みは変化を余儀なくされてい

ます。社会基盤の整備や公共施設の整備は自治体にとっては欠かせない役割であります。町を取り巻く状況は、一段と厳しく政策の選択は今後さらに重要な課題となっております。

地方分権の確立により政策決

定過程への住民参加は、今後ますます重要となり、町民、議会、町との協働したまちづくりが求められます。

合併後三年が過ぎまして、当時の申し合わせ事項などについて、見直しする年でもあります。

議会の責務であるチェック機能を高めるとともに、町民の皆様が目線に立って、時代の変化に対応すべく努めなければならぬと思っております。

議員一同皆様と手を携え、住んでよかったと実感でき、将来託すことのできるまちづくりの実現に全力を尽くす所存です。

町民の皆様には、これまで以上のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。合わせて皆様のご健康ご多幸をお祈り申し上げます。年頭にあたり挨拶いたします。